図書館通信

第５号　５月１４日（水）
名古屋経済大学
高蔵高等学校・中学校　発行

大学で「何を」学ぶか、「どう」学ぶか？②

前号の通信で、大学における学びの内容をテーマに、２冊の本を紹介しました。今号では、そのつづきとして、大学での学び方に焦点を当てた本を取り上げます。**濱中淳子『大学でどう学ぶか』（ちくまプリマー新書、2025 年）**、です。

教育社会学を専門とする著者は、2020 年度から 24 年度にかけて、偏差値高位・中位・低位の大学と放送大学の学生 86 名にアンケート・インタビュー調査を行いました。調査の目的は、現代の大学生は、「大学に進学する前にどのような期待を抱き、進学したあとどのような印象を持ったのか」、「何に刺激を受け、何に幻滅し、迷い、どのように状況を打破しようと試み、その結果どうだったのか」を明らかにすることです。つまり、「大学でどう学ぶ」と、自身の「成長」につなげることができるのか。この調査で解明された一端を紹介しているのが本書です。

本書では、偏差値高位大学 34 名の語りに絞って、大学生を 6 タイプに整理し、その学生生活を具体的に紹介します。エピソードが満載で、とても読みやすいです。詳細は本書に委ねますが、次のような学び方が、自己の成長につながると結論づけます。**「まず、アウェイの世界に飛び込み、それまで経験したことのない刺激を受け、思考を活性化させる。そして、早い段階で教員に話しかけ、考えていることや興味、不思議に思っていることを伝え、アカデミアとの接点や興味関心の育て方についてヒントをもらう」**ということです。

自分がそれまで体験したことのない「アウェイの世界」にチャレンジすること、大学教員が発する「なぜ？」「本当にそうなのか？」という問いに答えて、物事を多面的に思考する力を鍛えること。この２点が、結論の要点となります。そして、最後の第５章では、今までの議論を社会人の学びにまで射程を広げています。この章が個人的にはおもしろく、勇気づけられると感じています。社会工学者・矢野眞和の提唱する**「学び習慣仮説」**が紹介されています。これは、**「大学時代に学びを積み重ねた人は、働いている現在も学ぶことができ、結果として高い所得を享受することができる」**とする議論です。**「学校歴のせいにはしてはいけないし、いい大学を出たからといって、学習を忘れれば、教育の効果は縮小する。学歴や学校歴だけに囚われず、教育の機会を真摯に活用し、学生の本分を忘れない努力が、将来のキャリアを豊かにする」**のです。そして、大学時代の学びを活性化する要件が前述の２点ということです。

なぜ、本書の結論と「学び習慣仮説」に励まされるのか。これらの議論は、何も大学時代に限られないからです。「アウェイの世界に飛び込む」ことも、「教員を活用する」ことも、その程度に差はあれど、小学校・中学校・高校を問わず、いつでも実行可能です。そして、「学び習慣仮説」に従えば、例えば、小学校での学びが充実していれば、中学校での学びに、中学校での学びが充実していれば、高校での学びに、プラスの影響をそれぞれ与えることとなります。いつの時点からでも、「アウェイの世界に飛び込んで」、「教員を活用」しながら、真剣に学べば、次のステージでの学びを充実させてくれるのです。学びに遅きはない。希望にあふれた考え方ではないでしょうか。

紙面の都合上、通信では紹介できませんでしたが、**桐光学園・ちくまプリマー新書編集部編『中学生からの大学講義１　何のために「学ぶ」のか』（ちくまプリマー新書、2015 年）**も、このテーマを考える上で参考となります。ぜひお読みください。

新着図書案内 ＜その2＞

【２００　歴史】

＊教科書も間違っていた 歴史常識のウソ
常識のウソ研究会編　彩図社
＊一冊でわかる鎌倉時代；世界の中の日本の歴史
一冊でわかる室町時代；　〃
一冊でわかる戦国時代；　〃
一冊でわかる幕末　；　〃
大石学監修　河出書房新社
＊時系列×テーマ別だから一冊でわかるアメリカ史
池上彰監修　朝日新聞出版

＊世界と日本がわかる国ぐにの歴史
一冊でわかるイラン史　関眞興著
〃　オーストリア史　古田善文監修
〃　ポルトガル史　金七紀男監修
河出書房新社
＊「その後」の日本史；学校では教えてくれない偉人たちの意外な晩年　八幡和郎監修　宝島社
＊名古屋式。　雷門獅篭著　マガジンハウス
＊名古屋あるある　川合登志和他著　ＴＯブックス
＊君はなぜ北極を歩かないのか
荻田泰永著　産業編集センター

【３００　社会科学】

＊ホントの警察；刑事ドラマの見方が 180 度変わる！
結城凛編　ダイアプレス
＊有名企業社名とマークの秘密
本間之英著　学習研究社
＊結果を出す人の時間の考え方・使い方
小林一光著　明日香出版社
＊高校生就職面接の受け方答え方　‘‘26 年版
成美堂出版編集部編　成美堂出版
＊頭がいい人の敬語の使い方；仕事がデキる人間が使う究極の話術　本郷陽二監修　日本文芸社
＊女性は「話し方」で 9 割変わる　福田健著　経済界
＊人を傷つける話し方、人に喜ばれる話し方
渋谷昌三著　ワック株式会社
＊日本の給料＆職業図鑑　給料 BANK 著　宝島社
＊理学療法士になるには　丸山仁司編著　ぺりかん社
＊「コーダ」のぼくが見る世界；聴こえない親のもとに生まれて　五十嵐大著　紀伊国屋書店
＊社会の時間；学校の学びを社会で活かせ！
松井大助著　ぺりかん社
＊女子校ルール　女子校ルール研究会著　中経出版
＊採点者の心をつかむ合格するプレゼンテーション・面接・集団討論　鈴木鋭智著　かんき出版
＊’18 面接 自己ＰＲ・志望動機【完全版】
坂本直文著　高橋書店

【４００　自然科学】

＊南極ないない　小塩哲朗著　中日新聞社
＊つかめ！理科ダマン ９ 「動物のふしぎ」を探れ！編
シン・テフン作　マガジンハウス

【５００　技術・工学・工業】

＊教科書には載っていない大日本帝国の発明
武田知弘著　彩図社

【７００　芸術】

＊えがおさいた　おかすなお作　三恵社
＊呪術廻戦；特級呪霊解析禁書
佐野広野編　コスミック出版
＊鬼滅の刃；最終鬼密文書　結城凛編　ダイアプレス
＊マンガ最終回イッキ読み 99　おかわり
〃　またおかわり
エンディング研究会著　双葉社
＊音楽の力と市民;協創の文化資本　本田洋一著　水曜社
＊＃アイドルあるある推しごと図鑑
糸原沙也加著　宝島社
＊エヴァンゲリオン用語・語源事典
オカルト雑学探究倶楽部編　学習研究社
＊２時間ドラマあるある　佐野正幸著　宝島社
＊馬のトレーナーという仕事；世界最強の競走馬を育てる！　ＳＨＩＧＳ構成　Gakken

【９００　文学】

＊その悩み、古典が解決します。　菱岡憲司著　晶文社
＊ブレイクショットの軌跡　逢坂冬馬著　早川書房
＊杉下右京の密室　碇卯人著　朝日新聞社
＊杉下右京のアリバイ　碇卯人著　朝日新聞社
＊杉下右京の多忙な休日　碇卯人著　朝日新聞社
＊家族　高嶋哲夫著　角川春樹事務所
＊掟上今日子の保険証　西尾維新著　講談社
＊銀河の図書室　名取佐和子著　実業之日本社
＊十津川警部　絹の遺産と上信電鉄
西村京太郎著　祥伝社
＊問題。以下の文章を読んで、家族の幸せの形を答えなさい
早見和真著　朝日新聞出版
＊月収　原田ひ香著　中央公論新社
＊嘘をもうひとつだけ　東野圭吾著　講談社
＊片思い　東野圭吾著　文藝春秋
＊手紙　東野圭吾　毎日新聞社
＊予知夢　東野圭吾著　文藝春秋
＊永遠の０(ｾﾞﾛ)　百田尚樹著　太田出版
＊月とアマリリス　町田そのこ著　小学館
＊逃亡者は北へ向かう　柚月裕子著　新潮社
＊休むヒント。　偶像編集部編　講談社
＊スリーポイント・ジョーク；5 秒で蘇るユーモアと反骨精神　小林昌彦著　幻冬舎ﾒﾃﾞｨｱｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ
＊三国志魂 上・下 荒川弘＆杜康潤著　ｺｰｴｰ･ﾃｸﾓｹﾞｰﾑｽ
＊別れを告げない　ハン・ガン著　白水社
＊夜の日記　ヴィーラ･ヒラナンダニ著　作品社
＊フォース・ウィング 第四騎竜団の戦姫 上・下
レベッカ・ヤロス著　早川書房

≪図書館のインスタグラムを始めました≫

goo blog のサービス終了に伴い、先月より、**高蔵図書館インスタグラム**を始めました。図書館活動に関する情報は、こちらで発信していきます。また、学校のウェブサイトで、この図書館通信をアップしていきます。よろしくお願いいたします。

TAKAKURA_LIBRARY